

市町村名	北大東村						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	農・福・観連携6次産業推進活性化事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他				
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和2年度				
事業内容	農業振興、障がい者福祉、観光振興に資する施設を整備する。						
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,000	5,672	22,755		
		(b) 予算現額	6,000	5,672	22,755		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計(b+d)	6,000	5,672	22,755		
	B. 執行済額		6,000	5,184	22,755		
	うち補助金充当額		4,800	4,147	18,200		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	91.4%	100.0%		
予算の状況の説明		当初の計画通り、実施設計を作成し、事業は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	農作物加工センターの実施設計		目標 (-)	(基本設計の完了1件)	(実施設計の完了1件)	(-)	
			実績 -	基本設計の完了1件	実施設計の完了1件	-	
	人材育成(現業実習)		目標 (3回)	(-)	(3回)	(-)	
		実績 3回	-	3回	-		
達成状況説明	○実施設計を令和2年3月に策定した。 ○人材育成(研修や就労体験実習)を3回(令和1年8月、令和2年1月、令和2年2月)行い、6人が参加した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	加工品販売額		目標	(248万円)	(134万円)	(426万円)	(678万円)
			実績	262万円	247万円	68万円	-
	成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	障がい者の雇用		目標	(-)	(-)	(-)	(5人)
			実績	0人	1人	-	-
成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R1年度)	
就業体験受入者数		目標	(-)	(12人)	(-)	(12人)	
		実績	11人	-	5人	-	

進捗状況説明	<p>○サトウキビの豊作等の理由により、じゃがいもの生産トン数が計画値(100トン)より50トン少なくなり、加工品販売額の減少に繋がった。</p> <p>○障がい者の雇用については、平成29年度実施の就業体験参加者のうち1人が移住し、就業体験を行った企業へ就職した。</p> <p>○就業体験受入者数については、5人の参加があり、参加者へのアンケート回答者のうち3人(60%)が「北大東島での就労を検討するのに役立った」との回答があった。また、5人中2人が島で「暮らしてみたい」との意向を示している。</p>
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○「加工品販売額」</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去に例がないほどのサトウキビの豊作が続いたことにより、じゃがいもの生産トン数の減少に繋がり、それに伴う加工品販売額の減少が課題となった。 <p>○「障がい者の雇用」</p> <ul style="list-style-type: none"> 北大東村島の現状としては、一人で自立が難しい障がい者を雇用し移住・定住に繋げていくには、受入体制や就労支援体制の整備や雇用の場の不足が課題となった。 <p>○「就業体験受入者数」</p> <ul style="list-style-type: none"> 島内各職場での人材不足が課題となった。また、農作物加工センターが稼働した際の人材確保等が課題となった。 	<p>○「加工品販売額」</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存のじゃがいも加工計画の見直しを行い現状に沿った目標を作成し、販売額の増に繋げることが必要。 <p>○「障がい者の雇用」</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者が単身で移住できるようにするため、国の基準に沿った共同生活支援施設(居住施設)や、就労支援体制などの障害福祉サービス事業、障がい者雇用の場を整備することが必要。 <p>○「就業体験受入者数」</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業体験を行い、企業側で適正と可能作業範囲を把握しマッチングすることが必要。また、アンケート等を実施し農作物加工センターが稼働した際に就業する意思があるのか把握することが必要。

今後の取り組み方針

<p>○「加工品販売額」</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存のじゃがいも加工計画の見直しを行い現状に沿った目標を作成し、販売額の増に繋げる。また、じゃがいも以外の既存農産物もしくは付加価値の高い新規農産物生産も検証し、加工センターの通期での稼働率を高める検討を行う。 <p>○「障がい者の雇用」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人 北大東島振興機構が主体となって、定住を希望している障がい者の共同生活支援施設や就労支援施設等の計画を行う。 <p>○「就業体験受入者数」</p> <ul style="list-style-type: none"> 次年度も引き続き就業体験を実施し、企業とのマッチングや農作物加工センターで就業する方の募集選考を行う。
--

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
22,755	22,755	18,200	4,555	0

北大東村
22,755千円

→

委託料
22,755千円

→

アート技研(株)19,980千円

→

農作物加工センター実施設計業務

北大東村
22,755千円

→

委託料
22,755千円

→

(一社)北大東島振興機構2,775千円

→

令和元年度農福観連携6次産業推進活性化事業業務

評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	ホームページ上で企画競争の公募をおこなったが、一社だけの応募であった委託法人については、過去に事業実績もあり、当該業務の委託先として妥当であると考え。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算については、1社見積りにより行った。過年度実績を元に積算したのとなっており妥当と考える。
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

資金の流れ、費目・使途の点検評価